

UMD Stream Composer Release Note

担当部門	ソニー株式会社 HENC SW 技術部門 PS 設計部 ME 課
作成日時	2005/06/06
バージョン	UMD Stream Composer 1.5 RC4

修正履歴

日 時	変更点	バージョン
2004/08/06	・ 初回リリース	1.0 alpha
2004/08/13	・ 未実装項目の追加 ➤ 字幕エンコード ➤ 再エンコード	1.0 alpha2
2004/08/20	・ 未実装項目の追加 ➤ インバーステレシネ ・ EUI 仕様変更への対応 ・ バグ修正	1.0 alpha3
2004/08/27	・ 未実装項目の追加 ➤ 5.1ch, 7.1ch オーディオのエンコード ・ EUI 仕様変更への対応 ・ バグ修正	1.0 alpha4
2004/09/03	・ バグ修正	1.0 beta
2004/09/17	・ バグ修正 ➤ 字幕 SST 色変換が勝手にかかるバグ(BugID 648) の修正 ・ エンコード範囲指定 ・ ゲーム専用版 Composer (別アプリケーション)	1.0 beta2
2004/10/01	・ バグ修正 ・ ライブラリの入替え	1.0 beta3
2004/10/08	・ 新しい字幕仕様に対応 ・ バグ修正 ・ ライブラリ入替え	1.0 beta4
2004/10/29	・ 分散エンコード機能の追加 ・ エンコードパラメータに M=2adaptive を追加 ・ マークエクセルファイル入力への対応 ・ バグ修正	1.0 beta6
2004/11/12	・ AVC の仕様変更に対応したライブラリに変更 ・ AVCエンコード時に VUI の video_full_range_flag を設定するように変更 ・ 字幕ライブラリの変更 ・ リリースコンテンツにサンプル Mark ファイルの追加	1.0 beta7
2004/11/29	・ AVC ライブラリの変更 ・ バグ修正	1.0 RC

2004/12/16	<ul style="list-style-type: none"> 新規フィーチャー対応 <ol style="list-style-type: none"> 720x486 対応 30P 素材対応 ポストフィルタプレビュー エンコード結果のメール通知 DB コンポーザの統合 エンコード確認ダイアログ バグ修正 	1.5 Intermediate
2005/01/28	<ul style="list-style-type: none"> GI オプションをデフォルト OFF に変更 	1.5 Intermediate2
2005/02/01	<ul style="list-style-type: none"> 新規フィーチャー対応 <ol style="list-style-type: none"> ATRAC Movie Stereo 対応 字幕太らせフィルタ対応 静止画トラック対応 エンコーダコアライブラリの変更 バグ修正 	1.5 alpha
2005/02/09	<ul style="list-style-type: none"> 新規フィーチャー対応 <ol style="list-style-type: none"> エンコード詳細情報ウィンドウ エンコードパラメータ追加 エンコードリハーサル機能 NAV 色変換機能 オーディオ優先 Sync セグメントリエンコード時のウエイト調整仕様の変更 エンコーダコアライブラリの変更 バグ修正 	1.5 alpha2
2005/02/18	<ul style="list-style-type: none"> MPC ライブラリの変更 バグ修正 	1.5 beta
2005/02/25	<ul style="list-style-type: none"> エンコーダコアライブラリの変更 バグ修正 	1.5 beta2
2005/03/04	<ul style="list-style-type: none"> Mux、Demux ライブラリの変更 UI の変更 バグ修正 	1.5 beta3
2005/03/11	<ul style="list-style-type: none"> インバーステレシネの高速化 字幕サイズ制限の変更 バグ修正 	1.5 beta4
2005/03/18	<ul style="list-style-type: none"> AVC エンコーダライブラリの変更 バグ修正 	1.5 beta5
2005/03/25	<ul style="list-style-type: none"> AVC エンコーダライブラリの変更 エンコード・キャンセル時のデータ削除の変更 バグ修正 	1.5 RC
2005/04/14	<ul style="list-style-type: none"> 2.49 時間を越える素材をエンコードした場合にエンコードが失敗する問題を修正 	1.5 RC2
2005/05/13	<ul style="list-style-type: none"> AVC エンコーダライブラリの変更(低輝度対応) ストリーム終端の RAP 制限追加 バグ修正 	1.5 RC3

UMD Stream Composer Release note

2005/06/06	・ バグ修正	1.5 RC4
------------	--------	---------

1 リリース内容

- ・ UMD Stream Composer バイナリ (マニュアル含む)
- ・ Visual C++ .NET 2003 ランタイムライブラリ
- ・ リリースノート (本書)
- ・ エラーコード表
- ・ 補足マニュアル

2 使用ライブラリのバージョン (赤字は入替え、変更)

ライブラリ名	バージョン番号
AVC エンコードライブラリ	PaleMoon_P3RC2_B_2_2_28_22000_R AESH ver1.2.05.03180 AVC Multipass Controller 2.5 sbsfc_lib_rel_04Nov02
AVC デコードライブラリ	sjvtd_lib_rel_04Apr16_10
プリプロセスライブラリ	050310-ppm-sdk
字幕圧縮ライブラリ	SubTest041104
字幕たらしライブラリ	scaledconv20050128
MUX ライブラリ	Beta08 2004/03/02
ATRAC-Xwin32 スタティックライブラリ	atxsdk_2_02_umdvideo050202
SONY XML ライブラリ	Sony XML Engine v3.5.1 (マルチスレッド・ビルド)

3 変更点

3.1 1.0alpha での変更点

初回リリースのため、変更点はありません。

3.2 1.0alpha2 での変更点

- ・ 再エンコード機能を追加しました。
- ・ 字幕のエンコード、字幕の MUX 機能を追加しました。
- ・ ビデオ EUI で、au_ref_idc が毎回 0 になっていた問題を修正しました。
- ・ エンコード結果についても、再生コントロールのスライダーによるジャンプが実装されました。
- ・ 再生するストリームの切り替えに時間がかかっていたのが、ある程度改善されました

(遅い場合については後述)。また画面の点滅がなくなりました。

- ・ 23.98fps progressive のクリップの長さおよび再生位置が正しく表示されず、1.25 倍されていた不具合を修正しました。

3.3 1.0alpha3 での変更点

- ・ インバーステレシネ機能の追加しました。
- ・ 再エンコード時に発生していたバグを修正しました。(BugID 221)
- ・ EUI の最新版 0.40d に対応しました。
- ・ ビデオ、オーディオ、字幕の ESI ファイル (.esiv, .esia, .esis) を読み取って、ストリームの長さや属性を反映させられるようになりました。
- ・ ES ファイルでのループ再生が働かないバグを修正しました。(BugID 186)

3.4 1.0alpha4 での変更点

- ・ インバーステレシネと再エンコードの組み合わせで、エンコードが行えるようになりました。
- ・ インバーステレシネのプレビュー機能を追加しました。
- ・ ビデオとオーディオの長さが規定の条件を満たしていない場合は、エンコード、MUX が実行できないようにしました。(BugID 216)
- ・ PCM の MUX に失敗するバグを修正しました。(BugID 193)
- ・ 複数区間を一度に再エンコードすると、フレーム順序の入れ替わった結果が作成されることがあった問題を修正しました。(BugID 309)
- ・ 5.1ch、7.1ch のオーディオエンコード機能を追加しました。
- ・ PCM オーディオの再生がサポートされました。
- ・ オーディオのストリームが再生対象として選択されている場合、ストリームの選択切り替えに時間がかかる問題を修正しました。(BugID 225)
- ・ ストリームの切り替え、Stop、Jump の直後に Play を押すと、絵が停まったり、音が遅れたりすることがある問題を修正しました。(BugID 228)
- ・ Creative SoundBlaster Audigy2 でオーディオにノイズが乗る問題を修正しました。(BugID 415)
- ・ スプラッシュウインドウがちらつく問題を修正しました。(BugID 357)
- ・ プレビューの一時停止状態で再生位置をジャンプできるようになりました。(BugID 214)
- ・ プレビューの再生対象ストリームの選択切り替えにかかる時間が短縮されました。(BugID 225)
- ・ 1/5 倍速再生の不具合の修正(BugID 325,389)
- ・ 先頭の字幕が正しい時間に表示されない不具合を修正しました。(BugID 386)

3.5 1.0beta での変更点

- ・ 再エンコード時に、エンコードしなおした区間のはじめが著しく画質が落ちる問題を修正しました。(BugID 524)
- ・ RAP でない IDR 区間を境界とした再エンコードが行えてしまう問題を修正しました。(BugID 519)
- ・ 画枠、ビットレートが規格違反の設定であってもエンコードできてしまう問題を修正しました。(BugID 217)
- ・ RealVision SD-10 による SDI 表示環境では、絵が音よりも遅れる問題を修正しました。(BugID 233)
- ・ ループ再生で 2 回目以降オーディオが出なくなる問題を修正しました。(BugID 314)

3.6 1.0beta2 での変更点

- ・ ゲーム専用版の Stream Composer を別アプリケーションとして提供しました。
- ・ 範囲指定エンコードができるようになりました。ただし、Previewer が未対応のため、カーソルが正しく表示されません。
- ・ 設定に関わらず、字幕の SST 色変換がかかってしまい、エンコード後の字幕の色や背景色がおかしくなるバグを修正しました。(BugID648)
- ・ パターンを再設定すると InvTC のプレビューで落ちる場合があるバグを修正しました。(BugID543)
- ・ 24fps 素材が設定されている際、Filter 設定ダイアログを閉じる時にテレシネパターン検出を行っていたバグを修正しました。(BugID177)
- ・ 言語コードをドロップダウンで選択できるように変更しました (BugID343)
- ・ Previewer のエラー処理を改善し、ハングやクラッシュが起きないようにしました (BugID 224, 229, 459)

3.7 1.0beta3 での変更点

- ・ 各種ライブラリを更新しました。
- ・ UMD フォーマットで許されていないフレームレートとスキャン方式の組み合わせを禁止しました。(BugID559)
- ・ VbiExist をデフォルトで false にしました。(BugID747)
- ・ Game 版で Mark 設定を無効にしました (BugID398)
- ・ シーンチェンジ検出の精度が向上しました。
- ・ GUI のカーソルの反応を速くしました。
- ・ NAV(Tiff)ファイルの種類により透明色の設定が反映されないバグを修正しました。(BugID531)

- ・ 範囲指定エンコードの結果をプレビューするとカーソルの位置がおかしいバグを修正しました。(BugID 680)

3.8 1.0beta4 での変更点

- ・ UMD フォーマットの字幕仕様に対応しました。
- ・ AVC エンコーダ、AVC デコーダ、MUXER、字幕エンコーダ、字幕デコーダのライブラリを更新しました。
- ・ シーンチェンジ検出を実行した際に、アプリケーションがクラッシュすることがあった問題を修正しました。(BugID 927)
- ・ Atrac3plus でエンコードした結果をプレビューすると、Decode Error が出ることがあった問題を修正しました。(BugID 677)

3.9 1.0beta5 での変更点

- ・ 欠番

3.10 1.0beta6 での変更点

- ・ 分散エンコード機能が追加されました。
- ・ マークエクセルファイル入力機能が追加されました。
- ・ プレビューの PSP 表示モードを削除しました。
- ・ プレビュー再生性能が向上しました。
- ・ クリップをコピーした時に、エンコード結果および MUX 結果もコピーするようにしました。
- ・ NAV ファイルの透明色を自動的に設定する機能を追加しました。
- ・ 0H またぎの SST ファイルをプレビューできない問題を修正しました。(BugID 528)

3.11 1.0beta7 での変更点

- ・ AVC の規格変更に対応しました。
- ・ 字幕ライブラリを変更し、使用する PNG ライブラリが 1.2.7 になりました。
- ・ リリースコンテンツにサンプル Mark ファイルを追加しました。
- ・ AVC エンコード時に VUI の video_full_range_flag を設定するようになりました。
- ・ I/IDR 間隔が 1.5 秒/6.0 秒へと変更されました。
- ・ エンコード中のアニメーションを追加しました。
- ・ 再生中のカーソルを 1 本に変更しました。
- ・ 分散エンコード時に RAP 間隔が規定違反になる場合のあった問題を修正しました。(BugID 1864)
- ・ AU のサイズが規格違反になる場合があった問題を修正しました。(BugID 1865)

- ・ マニュアルが分散エンコード対応になりました。
- ・ プレビューの再生性能が向上しました。

3.12 1.0RC での変更点

- ・ プレビュー時に、ジャンプ後にフレーム番号、TC、同期がくるう問題を修正しました。(BugID 1579)
- ・ KB840987 のパッチをあてるとタイムライン上の設定ができなくなる問題を修正しました。
- ・ プレビュー時の字幕表示タイミングを UMD Video 0.8.8 に合わせました。
- ・ SDI 構成で Pixel Aspect Ratio Mode をサポートしました。
- ・ 同一プロジェクトに対してエンコード範囲を変えて複数回エンコードすると、MUX に失敗することがあった問題を修正しました。(BugID 2704)

3.13 1.5Intermediate での変更点

- ・ 次に挙げる新規フィーチャーに対応しました。
 1. 720x486 対応
 2. 30P 素材対応
 3. ポストフィルタプレビュー
 4. エンコード結果のメール通知
 5. DB コンポーザの統合
 6. エンコード確認ダイアログ
- ・ シーンチェンジ検出でアプリケーションが強制終了する問題を修正しました。(BugID 2810)
- ・ 連続した字幕を正しくプレビューできないバグを修正しました。(BugID 2742)
- ・ プロジェクト、クリップが参照している素材ファイルを参照できないと異常終了するバグを修正しました。(BugID 498, 2800)
- ・ インバーステレシネと分散エンコードを併用した場合に、フィールドオーダーが設定どおりにならない場合のある問題を修正しました。(BugID 2795)
- ・ 複数の AVI ファイルを 1トラック内に設定するとエンコードエラーが発生する問題を修正しました。(BugID 2787)
- ・ メニューバーからエンコードを行った場合にパラメータチェックがされていない問題を修正しました。(BugID 2782)
- ・ プログレッシブ素材にインバーステレシネを適用するとアプリケーションが強制終了する問題を修正しました。(BugID 2747)

3.14 1.5Intermediate2 での変更点

- ・ エンコーダコアの GI 機能をデフォルトで OFF にしました。(UmdStreamComposer と同じフォルダにある encoption.ini で変更可能)

3.15 1.5alpha での変更点

- ・ 次に挙げる新規フィーチャーに対応しました。

1. ATRAC Movie Stereo 対応
 2. 字幕太らせフィルタ対応
 3. 静止画トラック対応
- ・ エンコーダコアライブラリを変更しました。
 - ・ エンコード範囲の設定が常に Active になりました。
 - ・ エンコード範囲内でオーディオの尺が足りない場合は、無音データが挿入されるようになりました。
 - ・ ClipWindow 上に作成される BSF ファイル名が表示されるようになりました。
 - ・ ストリームのコピー機能を追加しました。これにより再エンコードする前にエンコード結果を保持しておくことが可能となります。
 - ・ 素材の設定情報とエンコード結果を対応させるようにしました。素材の設定情報が変更されるとエンコード結果が破棄されるようになります。
 - ・ メニューで複数のファイルを指定するとクラッシュする問題が修正されました。(BugID 3120)
 - ・ 複数のストリームを作成し、途中のストリームを削除すると違う内容で MUX される問題を修正しました。(BugID 2894)
 - ・ PCM ストリームにファイルを追加して再エンコードすると最後まで再生できない問題を修正しました。(BugID 2928)
 - ・ プロジェクトファイルのフォーマットが変更されました。Ver1.0 のプロジェクトファイルは互換性があるため、読み込み可能です。
 - ・ インバーステレシネと分散エンコードの組み合わせでエンコードできない場合がある問題を修正しました。(BugID 2914)
 - ・ インバーステレシネでクラッシュするバグを修正しました。(BugId 2897)
 - ・ Previewer において、プレビュー対象 Source, Filtered, Encoded を切り替えた場合やストリームを切り替えた場合、これまではストリームの先頭へカーソルが戻っていたのを、現在位置にとどまるように変更しました。
 - ・ 23.98P ビデオの最後のフレームがプレビュー時に表示されないことがある問題を修正しました。(BugID 3119)

3.16 1.5alpha2 での変更点

- ・ 次に挙げる新規フィーチャーに対応しました。
 1. エンコード詳細情報ウインドウ
 2. エンコードパラメータ追加
 3. エンコードリハーサル機能
 4. NAV 色変換機能
 5. オーディオ優先 Sync
- ・ セグメントリエンコード時のウエイト調整仕様を変更しました。
- ・ エンコーダコアライブラリを変更しました。
- ・ 字幕エンコード時にステータスバーが 100%にならない問題を修正しました。(BugID 3187)
- ・ 静止画でフォーマット違反の組み合わせのピクセルアスペクトレシオを設定できる問題を修正しました。(BugID 3175)
- ・ Clip Window で、Delete ボタンを押しても静止画ストリームを消去できない問題を修正しました。(BugID 3173)
- ・ NAV 字幕ファイル読み込み時に、透明色が正しく設定されない問題を修正しました。(BugID 2793)

- ・ 字幕読み込み時に TIFF ファイルが読み込めない場合のある問題を修正しました。(BugID 2656)
- ・ 静止画ストリームでレンジが設定されない場合に例外が発生する問題を修正しました。(BugID 3197)
- ・ 2 パスエンコードを行うと、テンポラリファイルが一部残る問題を修正しました。(BugID 3230)
- ・ Previewer による再生で、オーディオとビデオの同期をとるようになりました。それに伴い、「同期を優先してフレームをスキップする(デフォルト)」「すべてのフレームを表示し、同期は維持しない」という2つの再生モードを切り替えるため、Preview Every Frame ボタンを追加しました。

3.17 1.5 Beta での変更点

- ・ MPC ライブラリを変更しました。それに伴い、エンコードデータベースファイルのフォーマットが変更になりました。
- ・ 静止画エンコードの際のクオリティレベルで設定される BitRate の値を変更しました。また、MaxBitRate については、ユーザが値を指定するのではなく、設定されたクオリティに対して内部で自動設定するように変更しました。

	MaxBitRate	AvgBitRate
High	6MB	4MB
Middle	3MB	2MB
Low	2MB	1MB

- ・ バージョン番号の最後に日付を入れるようにしました。(今回は、1.5.00.050218)
- ・ EncodeControlServer にも About ダイアログを入れ、同様にバージョン番号を付けました。
- ・ ストリーム末端近くへジャンプすると音が出ないバグを修正しました。(BugID 3267)
- ・ リハーサルエンコーディングで Segmentation Falut が発生するバグを修正しました。(BugID 3266)
- ・ Mark の xls ファイルの内容が反映されないバグを修正しました。(BugID 3252)
- ・ テレシネパターンを変更した際、Filtered のプレビューに反映されていなかったバグを修正しました。(BugID 3271)
- ・ InverseTelecine の 最小時間素材のエンコードに関するバグを修正しました。(BugID 207)
- ・ Inverse Telecine の検出が二度行なわれるバグを修正しました。(BugID 2846)
- ・ Movie Stereo モードが無効だったバグを修正しました。(BugID 3259)
- ・ InverseTelecine の Filter Preview で Filter error(0x05000004) が発生し、プレビューできなくなるバグを修正しました。(BugID 3265)
- ・ Clip の存在しない Project で[Open clip]すると落ちるバグを修正しました。(BugID 3273)

3.18 1.5 Beta2 での変更点

- ・ エンコードコアライブラリを変更しました。
- ・ PSP の字幕範囲の制限である横が 608 以下、縦が 473 以下のサイズの字幕がエンコードの結果作成される可能性がある場合にはエラーを出力するように変更しました。
- ・ 次に挙げるバグを修正しました。
 1. SDI 環境で Previewer の Preview Every Frame をオフにして再生した場合、オーディオとビデオの同期がずれたり、ビデオが頻繁にコマ落ちする場
合がある (BugID 3275,3276)
 2. パターン設定によって InverseTelecine がエラーになる (BugID 3272)
 3. SPE の使う SST の字幕で未対応のフォーマットが存在する (BugID 3298)
 4. Filter Preview window のスライダー右端のフレームカウントがおかしい
(BugID 300)
 5. 字幕 NAV,SST タグの色指定入力に不正入力してもエラーメッセージが出ない
(BugID 340)
 6. Timeline window のスケールが 2sec の時、一番先頭のフレームが切れる
(BugID 387)
 7. Lowpass Cutoff と Noise Reduction Setting ダイアログで間違った絵が一
時表示される (BugID 664)
 8. エンコード中、画面を最小化できない (BugID 1044)
 9. ChangeChannelCount を使って作成した Audio7.1ch の Stream でエンコー
ドエラー (BugID 3123)
 10. IVTC パターンを手動で変更しても Filter Preview に反映されない (BugID
3271)
 11. Clip の存在しない Project で[Open clip]すると落ちる (BugID 3273)
 12. 静止画がないときのエンコードで落ちる (BugID 3304)
 13. 分散エンコードを行うと、RPAU の前のピクチャがリファレンスピクチャに
なってしまう場合がある (BugID 未登録)

3.19 1.5Beta3 での変更点

- ・ Mux, Demux ライブラリを変更しました。
- ・ 次に挙げる UI 機能を追加しました。
 1. タイムライン上のスクロールボタンを押し続けると加速する機能
 2. In/Out 点カーソル位置の手動入力機能
 3. ポジションカーソルのジャンプ機能
 4. タイムラインウインドウのカーソルを In,Out 点カーソルとカレントカーソルの 3 本に増やした
 5. Project ウインドウに予想 Clip サイズを表示するようにした
 6. ショートカットキー対応
 - トランスポートキー

機能	キー
1/5 倍速再生	Ctrl + Enter
再生	P または Enter
停止	S または Enter
一時停止	Space
次のフレームへ移動	N または Right
前のフレームへ移動	B または Left

- タイムライン上のキー

機能	キー
In 点を現在のポジションに移動	I
Out 点を現在のポジションに移動	O
In 点に現在のポジションを移動	Shift + I
Out 点に現在のポジションを移動	Shift + O
In 点を手動設定	Alt + I
Out 点を手動設定	Alt + O
クリックした位置に In 点を移動	Ctrl + 左クリック
クリックした位置に Out 点を移動	Ctrl + 右クリック
In 点と Out 点を同時に移動	Ctrl を押しながら In 点カーソルを移動
スケールの拡大	+
スケールの縮小	-
プレビューソースの切り替え	Ctrl + M

- ・ BugID3310 の修正により、インバーステレシネ適用時のプレビューアの表示パターンが変更されました。
 - 変更前
A, B, B, C, D
 - 変更後
A, B, C, C, D
- ・ 次に挙げるバグを修正しました。
 1. エンコードをキャンセルすると応答しなくなる場合がある(BugID 3231)
 2. チェッカーフラグ問題(BugID 3330)
 3. MaxClipSize の制限がない(BugID 338)

4. エンコードを開始した直後に落ちる場合がある(BugID 3314)
5. タイムライン上でエンコード範囲を変更しても反映されない場合がある(BugID 3322)
6. インバーステレシネの際、Filtered のプレビュー画面と詳細ウインドウの絵の組み合わせが一致しなかった問題(BugID 3310)
7. SDI 環境でプレビューアの再生開始直後に一瞬絵が止まる問題(BugID 3307)

3.20 1.5 Beta4 での変更点

- ・ インバーステレシネライブラリを変更しました。
- ・ 字幕サイズの制限を横 608, 縦 473 ピクセル以下から、横 606, 縦 471 ピクセル以下に変更しました。
- ・ 次に挙げるバグを修正しました。
 1. インバーステレシネと部分エンコードを併用した場合に、最後尾のフレームのパターンが CD の場合にエンコードできない場合がある。(BugID 3338)
 2. 静止画エンコードで画質を Lowest にした場合に、P ピクチャの量子化パラメータが最大でなかった。(BugID 3343)
 3. インタレース素材のエンコード結果をプレビューしたとき、薄くて細い水平縞が見えることがある。(BugID 3345)
 4. プレビューアの現在位置表示が表示画像と一致していないことがあった。(BugID 2667, 3341)

3.21 1.5 Beta5 での変更点

- ・ AVC エンコーダライブラリを変更しました。(Refresh 改善、Weighted prediction が有効になっています。無効にするには、同梱の encoption.ini を UmdStreamComposer.exe と同じフォルダに入れて実行して下さい)
- ・ 次に挙げるバグの修正を行いました。
 1. 長時間素材をエンコードした場合、エンコード後の応答に時間がかかる(BugID 3379)
 2. add black フィルタの際に加える黒画像の輝度値が 16 でなく 0 になっている(BugID 3358)
 3. リサイズフィルタの画質向上(BugID 2814)
 4. Mark の位置がずれる(BugID 3369)
 5. ビデオのアスペクト比が 10:11 または 20:11 で字幕なしのクリップを SDI 上で NTSC モードにしてプレビューした場合に映像が縮小される(BugID 2812)

3.22 1.5 RC での変更点

- ・ AVC エンコーダライブラリを変更しました。(規格違反対応)
- ・ これまではエンコードをキャンセルするとエンコード対象クリップの全ストリームのデータを破棄していましたが、キャンセル時にエンコード対象となっていたストリームのデータのみを破棄し、エンコードしていなかったストリームのデータは残すように変更しました。
- ・ 次に挙げるバグの修正を行いました。
 1. In 点、Out 点をフレーム番号で指定すると 1 フレームずれる (BugID 3396)

2. 詳細表示ウインドウのカーソル位置に対し、Previewer の表示画像およびタイムコード/フレーム番号が一致しない事がある (BugID 3341)
3. プレビュー対象クリップの切り替え、Source/Filtered/Encoded の切り替え、クリップ構成の変更、エンコード終了時などに Previewer で Runtime Error が発生することがあった。V1.5 Beta5 のみで発生した。(BugID 3387)
4. 同種のストリームが複数ある場合、エンコードをキャンセルすると、2 番目以降のストリームがキャンセルされない。(BugID 3397)

3.23 1.5 RC2 での変更点

- ・ 2.49 時間を越える素材をエンコードした場合にエンコードエラーとなる問題を修正しました。(BugID 3435)

3.24 1.5 RC3 での変更点

- ・ AVC エンコーダライブラリを変更しました。(平坦部でブロックノイズが目立つ問題の改善)
- ・ UMD Format の規定に従って、ストリーム終端の IDR 点について以下の確認を行うように変更しました。
 1. 強制 IDR 点とエンコード範囲の始点、終点との間隔が 0.4 秒以上
 2. チャプターマークを IDR 点とする設定の場合、チャプターマーク点とエンコード範囲の始点、終点の間隔が 0.4 秒以上
 3. 分割点とエンコード範囲の始点、終点の間隔が 0.4 秒以上
 4. エンコード範囲が 0.4 秒以上
- ・ 次に挙げるバグの修正を行いました。
 1. PCM オーディオを含む MPS を再生できない。(Bug ID 3513 PCM)

3.25 1.5 RC4 での変更点

- ・ 次にあげるバグの修正を行いました。
 1. フロントが複数台あった場合に分散マシンを誤検出する(BugID 3426)
 2. 30i 素材のエンコード時に、エンコードユニット検出に失敗(BugID 3670)
 3. エンコード結果のプレビューで、プレビュー画面上に CbCr 成分について細かく薄い横縞が入る (BugID 3642)
 4. 字幕の縦サイズが 8 ピクセルの倍数だと PSP の表示がおかしくなる (BugID 3730)
 5. brightnessScale のバグ修正(BugID 3732)

4 制限事項

- ・ 非 SDI 出力環境（通常の PC）において、字幕背景色と同じ色を含むウィンドウを Viewer 画面に重ねると、ビデオの絵が透けて見えます。
- ・ プレビュー時には video_full_range_flag は反映されません。
- ・ 同じストリーム上でサイズの異なる静止画が入力されている場合の動作確認ができていません。
- ・ 十分な CPU 性能とディスクアクセス性能を持たない PC では、データの読み出しやデコードが間に合わず、Previewer の再生モードにより、以下のような症状が発生します。

➤ Preview Every Frame : Off

ビデオとオーディオは同期して再生されますが、ビデオのコマ落ちが起き、絵が滑らかに動かなくなります。限度を超えると、ビデオとオーディオの一方、あるいは両方が数秒間スキップします。非常に負荷が高い場合は、ビデオとオーディオがスキップを繰り返します。

➤ Preview Every Frame : On

ビデオの絵はスキップせず、すべてのフレームが順番に表示されるので、スロー再生のようになります。ビデオの再生は遅れ、オーディオの再生は続いていくので、だんだん同期がずれてきます。ビデオとオーディオの同期ずれが大きくなると、オーディオ出力は無音になります。

エンコード結果のプレビューでこのような現象が発生する場合は、タイムライン・ウィンドウのサムネイル画像とオーディオ波形の表示を OFF にするか、タイムライン自体を表示しないようにすると、改善されることがあります。

- ・ CPU 性能およびディスクアクセス性能が十分な PC でも、ビデオ・ボードとオーディオ・ボードのクロックが同期されていないハードウェアでは、ビデオとオーディオのクロック周波数のずれにより以下のような症状が発生します。

➤ Preview Every Frame : Off

オーディオとビデオの同期を維持するために、ときどきビデオに 1 フレームのコマ落ちあるいは重複が発生します。

➤ Preview Every Frame : On

長尺のコンテンツを再生すると、ビデオとオーディオの同期が徐々にずれてきます。

- ・ オーディオの素材が、リモート・マシン上の AVI ファイルにある場合、Previewer で音が出なかったり、クリップやストリームの切り替えに時間がかかったりする場合があります（BugID 522, 3235）
- ・ エンコードデータベースのフォーマット変更により、alpha3 以前でエンコードした結果を以前のバージョンの Composer で再利用することはできません。
- ・ UMD Stream Viewer との同時起動を禁止していません。あとから起動したソフトウェ

アは「Direct Draw Surface を取得できない」というエラー・ダイアログを出して終了します。

- ・ 分散エンコード処理のキャンセルには数分程度かかる場合があります。

5 既知のバグ

- ・ プレビューの動作が非常に遅くなる問題があります。(BugID 461)
- ・ RealVision SD-10 による SDI 表示環境では、UMD Stream Viewer 再生停止中にも CPU 負荷が低下しません。(BugID 234)
- ・ 5.1ch と 7.1ch のオーディオ素材のプレビューで、音がずれたり途切れたりすることがあります。(BugID 540)
- ・ RealVision SD-10 による SDI 表示環境では、Pixel Aspect Ratio Mode(NTSC) でビデオ、字幕ともに 4:3 画面アスペクト比のストリームを表示した場合、両端に付く余白（黒）領域の再描画がうまくいかないことがあります。(BugID 2717)
- ・ リモートサーバで不正なダイアログが表示されてしまう場合があります。(BugID 3337)

- End of document -